

陸前高田発

新しい高田病院の定礎式

陸前高田市の中心部を望む高台に建設が進められていた県立高田病院は、新病院の建物がほぼ完成し定礎式が行われました。式では「定礎」と彫られた石板を正面玄関の内側に設置して仕上げの工事や将来にわたっての建物の安全を祈願しました。新病院は鉄筋コンクリートづくりの2階建てで一般病床は60床、8つの診療科があり来年3月1日に開院する予定です。(12/13 ニュースエコー)



陸前高田発

仮設の病院でコンサート

震災で被災した陸前高田市の県立高田病院では、仮設の建物で最後のクリスマスコンサートが開かれました。会場となった外来の待合室では田畑潔院長をはじめ医師や看護師ら職員14人がサンタクロースなどに扮して「赤鼻のトナカイ」などクリスマスの歌を合唱しました。また、子どもたちにはプレゼントも渡され、ひと足先にクリスマス気分を満喫していました。(12/21 ニュースエコー)



釜石・大槌発

サンタ100人がやってきた

全国から集まったボランティア100人が4つのグループに分かれて釜石市の仮設団地と大槌町の災害公営住宅を訪れ、サンタクロースに扮して子供たちにお菓子をプレゼントしました。また集会場ではミニライブも行われました。これは遠野のNPO法人が震災の年から行っているものです。(12/23 ニュース)



盛岡発

新路線名は「リアス線」

三陸鉄道は再来年3月にJR山田線の宮古・釜石間の移管を受けた後の新たな路線名を「リアス線」とすることを決めました。現在の南・北リアス線とJR山田線から移管される区間をあわせた「リアス線」は、全長およそ163キロで第三セクターとしては全国一長い路線となります。また宮古・釜石間に新たに「八木沢・宮古短大駅」と「払川駅」の2つの新駅が設置されることとなりました。(12/25 ニュースエコー)



宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの箱石文彦さんが「宮古の正月」について伝えてくれました。宮古では元旦に雑煮、煮しめ、新巻鮭やナメタガレイの煮付け、イクラ入りの大根なます等を食べるのが一般的で、2日には「とろろ飯」を食べます。これは風邪をひかなくなると言われているからのようです。次に餅ですが、元旦に「くるみ餅」、3日に「ごま餅」、5日に「あずき餅」を食べるといことです。(12/20)

陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、「Tsunami」という本を紹介してくれました。出版したのは神奈川県在住の中澤八千代さんで、かつて住んでいた陸前高田の友人や知り合いから聞いた東日本大震災の体験談を集め2012年秋に刊行された「わたしの友の(3.11)」の英語版です。震災発生の数日後にやっと親友と連絡が取れた時の事、震災の時に津波をかいくぐって生き延びたかの証言などが書かれています。津波の恐ろしさを世界中の人に伝え、いつまでも忘れてほしくないという中澤さんの思いが込められた本だということです。(12/27)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122